

# 議会のいろは

## 🔍 議会用語をわかりやすく解説します

今号は「予算審議」特集号。市議会では毎年3月、翌年度の予算を審議します。予算にまつわる言葉は難しそうに見えますが、実は市民の暮らしに直結するものばかり。この機会にぜひふれてみてください。

### 1 当初予算・補正予算

#### 年度途中で予算が変わるのはなぜ？

#### 🌸 当初予算とは

年度の始まり(4月)に向けて、その年に使うお金の計画を立てたものが「当初予算」です。さくら市では毎年3月の定例会で審議・議決されます。



#### 🌸 補正予算とは

年度の途中で、予想外の出来事(災害・物価高騰・国の新制度など)が起きたとき、当初の計画を変更するために組む予算です。緊急の場合は臨時議会を開くこともあります。



給食費無償化のような国の新制度が決まると、補正予算で対応することがあります。予算は「生き物」で、市民生活の変化に合わせて柔軟に対応しています。

### 2 一般会計・特別会計・企業会計

#### 会計の種類はなぜ分かれているの？

#### 🌸 一般会計とは

市の基本的な行政サービス(教育・福祉・道路整備など)を担う、いわば「メインの家計簿」です。税金や国・県からの交付金などが主な財源で、市の予算の中心となります。

#### 🌸 特別会計・企業会計とは

国民健康保健・介護保険などは「特別会計」、水道・下水道など独立採算で運営される事業は「企業会計」として、それぞれ一般会計とは別に管理されます。



国保料や水道料金が値上がりする際、「赤字だから」と説明されることがあります。これらは一般会計とは別に管理されており、税金で補填するには議会の議決が必要です。

### 3 財政調整基金

#### 市の“貯金箱”ってどんなもの？

#### 🌸 財政調整基金とは

税収が予想より少なかったときや、大きな災害・緊急事態が起きたときに備えて積み立てておく、市の「貯金」です。家計でいえば「いざというときの預金」にあたります。景気がよく税収が多い年に積み立て、必要なときに取り崩して使います。



基金が多すぎると「貯め込みすぎ」、少なすぎると「いざというときに対応できない」と批判されます。議会では「適正な残高はいくらか」も重要な論点のひとつです。さくら市の基金残高は毎年の予算書で確認できます。